

GYODA

CITY PUBLIC RELATIONS

FEB.2013

2

No.800

市報 ぎょうだ



特集 子供たちの知的好奇心を刺激する
「子ども大学ぎょうだ」へ GO! GO! GO! P.2
市役所がリニューアルしました P.6

子供たちの知的好奇心を刺激する

「子どもも大学ぎょうだ」GO! GO! GO! GO! GO! GO! GO!

子供たちが素朴に「なぜ？」と疑問に思うことを、大学教授をはじめ専門家の皆さんが丁寧に教えてくれる。「子ども大学ぎょうだ」。ここで学んだ子供たちは、どんなことにも興味を持って、自分自身で考える力身に付けています。疑問を持つこと、自分で考えることは、新たな発見を生み出す原動力となります。子供たちの夢をはぐくみ、知的好奇心を刺激する「子ども大学ぎょうだ」で学んでみませんか。

ワクワクがいっぱい
「子ども大学ぎょうだ」

本市では、埼玉県・ものづくり大学・NPO法人子育てネット行田・行田市民大学と連携して、市内の小学4～6年生に学校とは一味違った学びの機会を提供する「子ども大学ぎょうだ」を開設。今年度で3年目を迎え、これまで延べ125人が修了しました。子供たちからは「ワクワクして学ぶことができた」と好評です。

同大学では、物事の原理や仕組みを追求する「はてな学



はてな学

ものづくりの原理や 仕組みを追求

子どもの興味や関心が高まるのは、単に未知で奇抜なものというだけではありません。「はてな学」の内容は、子供たちにとって身近なもの、社会的に関心が高いものなどを選定しています。平成22年度は完成間近の東京スカイツリーを取り上げ、模型を使いながら、なぜ巨大な高層建築物でも地震に強いのかを解説したり、今年度は省エネルギーにつながるLEDライトについての講義を行ったりしました。



かりん
本田花梨さん
(泉小5年)

「家のあかりを上手に使おう」という授業がおもしろかったです。「虹を見る箱」を作り、蛍光灯に向けてのぞくと虹が見えました。とても不思議な体験でした。また、LED電球と豆電球の明るさを比べたりしました。この授業を受けた後は、家の中の電球に注目するようになりました。色の違いで、何の電球を使っているのかわかるようになりました。





平成24年度の修了生の皆さん

な学」、地域を知り郷土愛を育てる「ふるさと学」、自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」の3分野について学びます。講師を務めるのは、大学教授や学芸員などのスペシャリスト。体験学習などを取り入れたプログラムになっているので楽しく学ぶことができます。

また、講義だけでなく学園祭を開催し、多くのお客さんと交流を図ったり、県内の子ども大学の成果を発表し合い、子ども同士の交流を深めたりする発表・交流会も行われています。



生き方学



ふるさと学

自分を見つめ人生や将来について考える

内容が広範囲に渡る「生き方学」は、毎年内容を絞り、学んだことがすぐに実践に結びつく実学を行っています。

平成22年度は古いガス管をリサイクルしたもののづくり、平成23年度は防災学習センターで災害から身を守る体験を実施。そして、今年度はテクノ・ホルティ園芸専門学校で植物の講義と観葉植物の寄せ植え体験や、行田市民大学卒業生による朝ごはんの重要性を訴えた紙芝居の鑑賞などを行いました。

地域を知り郷土を愛する心を育てる

本市は、古代から近代までさまざまな歴史的な文化遺産が数多く点在する歴史の宝庫です。「ふるさと学」では、県立さきたま史跡の博物館や郷土博物館の学芸員による講話に加え、館内見学、映画鑑賞、勾玉作り、古代の服を着る体験など、バラエティに富んだ学習形態を取り、体験しながら郷土に対する誇りと愛着を持てるような内容となっています。



倉崎葉月さん
(太田東小6年)

テクノ・ホルティ園芸専門学校で行った「花を上手に育てるコツ」という授業が、私は印象的でした。

この授業で初めて花の寄せ植えを行いました。自分で花を選んだり、土に触れたりしながら、かわいらしい作品を作り上げていくところが楽しかったです。

寄せ植えを行う中で、花には根が強いものや弱いものなど、いろいろな性質があることが分かりました。



ただし
石川禎至くん
(東小6年)

僕は郷土博物館で足袋産業についての映画を鑑賞したことが今に残っています。

現在は、あまり足袋は作られていないけれど、かつては有数の足袋の産地だったことが分かり、昔の行田の様子を振り返ることができました。行田のまちに足袋蔵がたくさんあることも、この授業で「なるほどな」と思いました。

学園祭

平成22年度の学園祭は、こどものまち「ミニぎょうだ」を商工センターで開催。銀行や放送局などのブースを開設し、お客さんとして招いた市内小学生を相手に商品を販売したり、働いた対価として会場内で使用できる通貨を受け取って各ブースで遊んだりしました。平成23年度からは「行田こどもまつり」で、自分たちで考えた店を運営しています。子供たちは、社会の仕組みを学び、責任感やコミュニケーション能力を身に付けることができました。



向井玄くん
(泉小6年)

昨年度初めて参加し、今年度は2回目の学園祭でした。

今年度のコーナーの1つ「くるくるっかさん」は、自分が考えた内容です。実施できて、とてもうれしかったです。

昨年度は受付係だけだったけれど、今年度は遊びに来てくれた人に教える係で、対応が難しかったです。それでも、たくさんの方が来てくれてよかったです。



発表・交流会

大宮ソニックシティを会場に平成23年度から始まった「発表・交流会」。今年度も県内20の子ども大学が一同に集まり、体験の指導をしたり、これまで学んできた内容を発表したりしました。また、自分の名刺を作成し、上田県知事をはじめ、ほかの大学の子どもたちと名刺交換をするなどして、社会人としての入り口を体験することができました。



増尾瞳さん
(南小6年)

今回初めて参加しました。名刺には習い事や特技などのプロフィールを書いて、自分だけの特別な名刺を作りました。たくさんの方と名刺交換ができて楽しかったです。また、学園祭で作ったものや、入学式からの写真などを展示しながら「子ども大学ぎょうだ」のPRをしてきました。

会場には自転車で発電する体験コーナーがあり、これでまち中の電気を作ることができればいいなと思いました。



「子ども大学ぎょうだ」に参加した子供たち誰もが、目まぐるしくと輝かせていました。学園祭で、自分たちの企画が「お店」という形になって表現できた喜びや、発表・交流会で上田県知事と名刺交換をするといったドキドキ感などは、子ども大学でしか味わうことができないのではないのでしょうか。

ものづくり大学の教授による講義や郷土博物館の学芸員による解説など、学校では経験できないことを学習できるとあって、子供たちは「子ども大学ぎょうだ」の授業を毎回楽しみにしているようでした。また、自分を通っている学校以外の子供たちと交流を図りながら授業を受けることで、多くの友達ができたようです。



向井久恵さん
(清水町)

子ども大学でしか
できない体験を

保護者の声

広々としたキャンパスに、視聴覚機器が完備された教室。そこに一歩足を踏み入れただけで、「子ども大学ぎょうだ」に参加した子供たちは自分が少し大人になったような感覚にとらわれるでしょう。

「子ども大学」が持つ魅力とは何なのか……。それは、目の前で大学教授や地域のプロフェッショナルが興味・関心をくすぐる授業を展開する中で、疑問を持つことの大切さと答えを導き出したときの感動が味わえること、そして、たくさんの友達と一緒に学ぶことができる場所があることです。

広がる可能性と 友達の輪

子供たちは、いろいろなことに興味を持ちます。子どもだからこそ見つけ出せるものもたくさんあります。「なんでだろう」をそのままにしておいてもよいのでしょうか。「知りたいな、調べてみよう」と思うきっかけをつくることで、子供たちのあらゆる可能性は大きく広がっていくはずで

す。

最近では、地域の行事やイベントにあまり参加しないなど、人と関わるのが苦手な子が増えています。「子ども大学ぎょうだ」は、学びの場であると同時に友達づくりの場でもあります。学校も学年も異なる初めて出会う人ばかりの中でも、子供たちはすぐに仲良くなれる能力を持っています。目の前にいる知らない相手にも勇気を持って話し掛けてみることから「友達の輪」が広がり、社会で必要なコミュニケーション能力を伸ばすことにつながります。

「なんでだろう」 から夢を見つける

「子ども大学ぎょうだ」は、主に夏休み期間に実施しています。平成25年の夏も、多くの子供たちの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する予定です。

「子ども大学ぎょうだ」でわが子の可能性を見つけてみませんか。きっと子供たちは、小さな「なんでだろう」から大きな夢を見つけてくれるはずですよ。

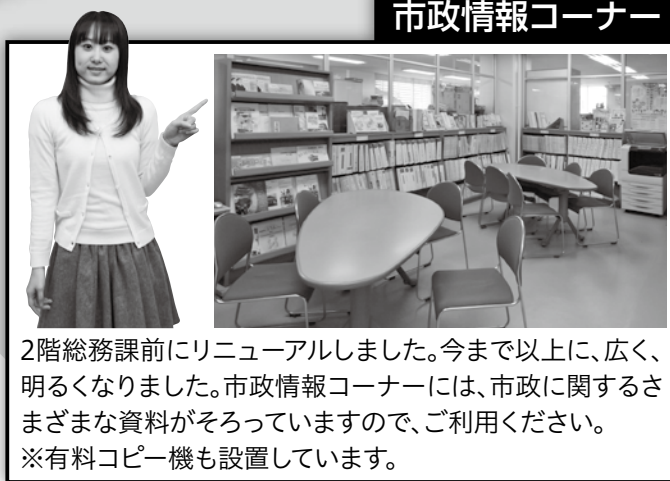


▶問い合わせ ひとつくり支援課生涯学習担当 ☎556-8319

2F



市政情報コーナー



2階エレベーターホール



3F



3階エレベーターホールに、議会を視聴することができるモニターを設置しました。

▶ 問い合わせ

企画政策課政策担当(内線311)



女性消防団員 大募集



イメージキャラクター 星野真里さん

本市では、地域の安心・安全を担う女性消防団員を募集しています。

消防団とは、仕事を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神に基づき、地域の安全と安心を守るために活動している方が集まる、市町村の消防機関の一つです。現在、本市には254人の消防団員がいます。

地域防災の要として、今後とも大いに活躍することが期待される消防団に入ってみませんか。

▶募集期間 2月28日(木)まで

▶募集人数 10人

▶入団資格 市内に在住、在勤または在学で、心身ともに健康な18歳以上50歳程度の女性の方で、5年以上勤続可能な方

▶活動内容

・消防や防災に関する知識・技術を習得し、女性の視点を生かした災害弱者家庭などへの防

火指導、応急手当の普及および啓発

・地震や風水害などの大規模災害発生時における情報収集、救急・救護活動、食料などの供給および補助

・平常時の各種訓練、火災の発生しやすい時期などに行う特別警戒および防火広報活動

▶問い合わせ 消防本部総務課 ☎550-2120

「元気な行田を目指して」「行田市地域活性化推進委員会」より提言書が提出されました

1月15日、「行田市地域活性化推進委員会」から中心市街地の活性化対策についての提言書が提出されました。

同委員会は、平成22年の設立以来、魅力溢れる「元気な行田」の実現に向けて、合計11回の委員会を開催し、さまざまな地域活性化策の議論や検討を行っています。今回は特に意見が多かった、映画「のぼうの城」公開後の地域活性化策（観光）について提言しました。

今後、市では提言書を基に、観光資源を生かした行田ならではのまちづくりを進めていきます。



▼問い合わせ 企画政策課政策担当（内線311）

人権擁護委員に委嘱されました

私たちの基本的な人権の擁護や自由人権思想の普及などのために活動している人権擁護委員に、永野修之氏(谷郷)と森郁子氏(向町)が委嘱されました。

人権擁護委員の任期は3年で、平成25年1月1日付けで法務大臣から委嘱を受けました。



永野 修之氏



森 郁子氏

▶問い合わせ 人権推進課人権同和対策担当(内線221)

地産地消直売所マップへの掲載者を募集します

行田市地産地消推進協議会では、市内で生産される安心・安全な農畜水産物とその生産者を紹介する「行田市地産地消直売所マップ」の内容を更新します。同マップへの掲載者を募集しますので、ぜひご応募ください。

▶対象 次のいずれかに該当する方

- 市内で生産した農畜水産物を直販することができる農家または施設(来客者などに対応できる体制が整っていること)
- 市内で生産した農畜水産物を市内の店舗(JAほくさい行田農産物直売所、古代蓮の里売店、市内スーパーマーケットなど)で販売している農家



現在の行田市地産地消直売所マップ

▶申し込み・問い合わせ 2月22日(金)までに直接または電話で同協議会事務局(農政課内・内線386)

行田市都市計画マスタープラン(案)が工藤市長に提出されました

1月8日、行田市都市計画マスタープラン策定委員会(酒井建二委員長以下委員24人)は、今後20年間の都市計画の基本的な方針を定める行田市都市計画マスタープラン(案)を工藤市長に提出しました。

今後、3月に開催予定の都市計画審議会で見聞聴取を行い、4月から新たなまちづくりを進めていきます。



▶問い合わせ 都市計画課計画担当 ☎550-1550

平成24年度版行田市環境報告書を公表しています

本市では、市内の自然環境や生活環境(公害)などの現状、環境施策の進捗よく状況などをまとめた「行田市環境報告書」を毎年度作成・公表しています。

このたび、平成23年度の実績をまとめた「平成24年度版行田市環境報告書」を作成しました。次の場所で公表しているほか、市ホームページでも公開していますので、ぜひご利用ください。

▼閲覧場所 市政情報コーナー、南河原支所、中央公民館および各公民館

▼問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

下水道事業受益者負担金をお支払いの方へ

第4期納期限 2月27日(水)

受益者負担金は、下水道供用開始となった時点で、使用の有無を問わず土地の面積に応じて賦課されます。この負担金の納付には便利な口座振替をご利用ください。また、期限内の納付が困難な場合は、納付相談をご利用ください。

なお、負担金賦課区域内の土地で売買・相続などにより受益者の変更があった方は、下水道課までご連絡ください。

▼問い合わせ 同課業務担当 ☎564-0303(前谷1-1・水道庁舎内)

行田市民大学 平成25年度新入生を募集します

「市民による手作りの学校」を目指している市民大学。5年目となる平成25年度も、さらに講座に磨きをかけて皆さんの応募をお待ちしています。

基本理念

希望に満ち、活気溢れる、明るいまちづくりには、市民一人ひとりが「志」を持って自ら学ぶことにより、見識を高め、能力を磨いて、自主的に行動することが求められています。

市民大学は多くの市民の方に、生涯学習の場を提供し、一人ひとりが輝き、豊かな地域社会づくりに貢献することを目的とします。

- ・「自ら学ぶこと」は、たのしいことです。
- ・「共に学ぶ仲間に出会えること」は、うれしいことです。
- ・「学んだことを日々の暮らしや地域に活かすこと」は、すばらしいことです。

基本目標

- 1 生涯学習と自己啓発による生きがいづくり
- 2 出会い・交流・仲間づくり
- 3 地域社会に役立つまちづくり
- 4 市民と大学や地域との連携づくり

募集要項

- ▶**修学期間** 5月から2年間(原則木曜日に開催)
- ▶**時間** 午後1時～3時
- ▶**場所** ものづくり大学(予定)
- ▶**応募資格** 原則として市内在住または在勤の方で、16歳以上の方
- ▶**募集人数** 50人(定員を超えた場合は抽選)
- ▶**学費** 年間15,000円(指定する日までに振り込み)
※視察ツアーは別途負担あり
- ▶**応募方法** 市役所、教育委員会、各公民館などに用意してある所定の申込用紙に必要事項を記入の上、3月15日(金)までに持参・郵送・FAXのいずれかの方法で申し込みください。
【持参・郵送】〒361-0052 行田市本丸2-20 行田市教育委員会ひとつくり支援課
【FAX】556-0770
- ▶**入学決定** 4月上旬までに応募者へ結果を通知します。

行田 たのしい、うれしい、おもしろい。

市民
大学

受講生募集!

講座予定

回	内 容
1	入学式、オリエンテーション
2	生涯学習が切り開く新たな世界
3	「のぼうの城」を検証・・・成田一族の盛衰
4	2学年グループ研究発表
5	第1回視察ツアー 郷土の歴史ロマンツアー
6	郷土の誇り・・・埼玉古墳群
7	郷土の地形と成り立ち
8	忍城主はなぜ徳川幕府に重用されたのか
9	昭和30年代はなぜ憧れの対象となるのか
10	文化財を生かしたまちづくり
11	行田市の原点 日本一の足袋産業
12	自然の大切さ みんなで学ぼう
13	ものづくり大学 学園祭でフィーバー!?
14	郷土の風習・文化を学ぶ 神楽と獅子舞
15	第2回視察ツアー 行田再発見 自然観察会
16	元気の出るまちづくり
17	明治維新と首都東京の成り立ち
18	身近な法律「人間の死と相続」
19	接客マナーとサービス(調理実演も含めて)
20	街頭紙芝居から昭和を振り返る
21	グループ研究成果発表
22	修了式 卒業生との交流

※講座の順序や内容は都合により変更する場合があります。

※講座のほかにグループ研究があります。

▶**問い合わせ** 同課生涯学習担当 ☎556-8319

「市政懇談会」

ご参加ください

市民の皆さんの声を聴き、市政について意見交換を行う「市政懇談会」に参加してみませんか。

次の地区を対象に懇談会を開催しますので、ぜひご参加ください。

▼**日時** 2月22日(金)午後7時～8時30分

▼**場所** 佐間公民館

▼**対象** 佐間地区在住の方

▼**その他** 申し込みは不要です。直接会場にお越しください。



▼**問い合わせ** 広報広聴課広報広聴担当 (内線318)

観光情報館「ぶらっとろぎょうだ」臨時休館のお知らせ

2月16日(土)・17日(日)は、施設の定期点検を実施するため臨時休館となります。

▼**問い合わせ** 商工観光課観光担当(内線389)

入室を募集する学童保育室

名 称	場 所
中央学童保育室	中央小学校敷地内
東学童保育室	東小学校敷地内
さくら学童保育室	桜ヶ丘小学校敷地内
泉太井学童保育室	泉小学校敷地内
南河原学童保育室	南河原支所内
下忍学童保育室	下忍小学校敷地内
荒木学童保育室	荒木小学校敷地内



学童保育室での様子

新小学4年生以上の学童保育入室児童を募集します

- ▼対象 保護者の就労などにより、昼間常時留守となる家庭で、市内小学校に通う新小学4年生以上の児童
- ▼募集人数 各学童保育室とも若干名
- ▼入室期間 平成25年4月1日(月)から
- ▼注意 現在入室している小学3年生も申請が必要となります。
- ▼申請書配布 2月1日(金)から子育て支援課および各学童保育室で配布します。
- ▼申請期間 2月7日(木)～3月7日(木)に直接子育て支援課に申し込みください。
- ▼その他
 - ・入室決定は申し込み順ではありません
- 3)▼問い合わせ 同課保育担当(内線26)
 - ・申し込みが定員を超えた場合は、保護者の勤務状況などにより入室の可否を決定します。
 - ・3年生以下の申請状況により募集内容が変更になることがあります。
 - ・通学する小学校以外の学童保育室に入室する場合は、学童保育室送迎支援事業を利用してください(ファミリー・サポート・センターへの登録が必要)。

ぜひお越しください

博学連携展示 「むかしの暮らし」

小学3年生の郷土学習授業に合わせ、明治～昭和時代の暮らしの様子を紹介します。

- ▶開催期間 2月2日(土)～4月7日(日)※月曜日(2月11日を除く)および2月12日(火)・22日(金)、3月21日(木)・22日(金)は休館
- ▶開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- ▶場 所 郷土博物館企画展示室

むかしの暮らし・あそび体験会

- ▶日 時 3月9日(土)午前10時～正午、午後1時30分～3時30分
- ▶場 所 同館講座室
- ▶内 容 羽根突き、すごろく、ベーゴマや昔の農具などの体験
- ▶参加費 無料
- ▶問い合わせ 同館 ☎554-5911

「むかしの暮らし」解説ボランティアを募集します

子供たちの郷土学習を支援するため、「むかしの暮らし」展示解説のボランティアを募集します。昔の食事や道具、遊びなどについて、子供たちに教えることができる方は、ぜひご応募ください。

- ▶応募資格 満20歳以上の健康な方
- ▶活動日 開催期間中、小学校の団体見学のある日



「むかしの暮らし」を体験する子供たち



保健案内

保健センター
長野 2-3-17
TEL: 553-0053
FAX: 555-2551

子どもの健康

乳幼児健診

名称 4カ月児健診、1歳6カ月児健診、2歳児
歯科健診、3歳児健診

その他 転入されたお子さんで、前住所地で受診
していない方は保健センターへご連絡
ください。

BCG予防接種

受付日時 3月4日(月)午後1時30分～2時

対象 平成24年11月7日～12月1日生まれのお
子さん

※対象児以外でまだ受けていないお子さん(6カ月未
満)は、この機会に受けてください。なお、ワクチ
ンの準備などがありますので、事前に電話でご連
絡ください。

乳幼児相談(要申し込み)

受付日時 3月4日(月)午前9時30分～11時30分

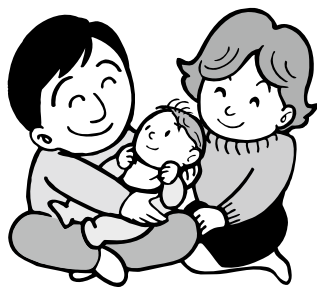
対象 小学校入学前のお子さん

離乳食教室(初期)(要申し込み)

受付日時 3月4日(月)午前10時15分～10時30分

対象 平成24年9月15日～10月14日生まれのお
子さんがある方

※いずれも場所は保健センター



おとなの健康

こころの相談

日時 2月27日(水)、3月13日(水)
※時間は申し込みの際にお知らせします。

場所 保健センター

対象 いつも不安、夜眠れない、生活のリズム
が乱れている、自分の性格や人間関係に
悩んでいる、飲酒量が多くやめられない
など、こころに悩みのある方

その他 随時、電話での相談もお受けします。

休日急患診療

期 日	医療機関名
2月17日(日)	清幸会行田中央総合病院
2月24日(日)	壮幸会行田総合病院
3月3日(日)	清幸会行田中央総合病院
3月10日(日)	壮幸会行田総合病院

- ・診療科目……内科、小児科、外科
- ・診療時間……午前10時～午後5時
- ※医療機関が変更されることがありますので、事前に
問い合わせください。
- ・清幸会行田中央総合病院 ☎553-2000
- ・壮幸会行田総合病院 ☎552-1111
- ◇夜間などの急病やけがで受診できる医療機関を知り
たいとき
- ・行田市消防署 ☎550-2123
- ・埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199
- ◇埼玉県小児救急電話相談「#8000」
- ・県内どこからでも「#8000」をプッシュすると相
談窓口につながります(携帯電話可)。
- ・相談時間 【月～土曜日】午後7時～翌日午前7時
【日曜日、祝日】午前9時～翌日午前7時

かんじんな腎臓講座

新たな国民病といわれる慢性腎臓病。多くの血管が
走る腎臓は、動脈硬化の影響を最も受けやすい臓器で
す。慢性腎臓病は糖尿病も深く影響するほか、高血圧
や脂質異常、痛風など多くの生活習慣病が原因にもな
っています。

腎臓の機能について健診結果から分かることや、腎
臓を守る生活について学びます。

日 時 3月1日(金)午後2時～4時(受け付けは午後1時
45分から)

場 所 保健センター

内 容 【医師講話】「腎臓病から人工透析の現状」
小林万寿夫さん(清幸会行田中央総合病院医
師)

【保健師講話】「腎臓を守る生活のポイント、
生活チェック、行田市特定健康診査の傾向」

対 象 市内在住の方

定 員 30人(先着順)

持 ち 物 特定健康診査または人間ドックなどの結
果、健康手帳、筆記用具

申し込み 2月26日(火)までに直接または電話で保健セ
ンター

あなたも行田市の登録手話通訳者になりませんか

聴覚・音声または言語機能に障害のある方に対して、手話通訳を行う登録通訳者の選考試験を実施します。登録後は、派遣申請に基づき手話通訳業務を依頼します。

- ▶ **日時** 2月24日(日)午前9時30～正午
 ▶ **場所** 総合福祉会館「やすらぎの里」
 ▶ **受験資格** 平成25年4月1日現在、満20歳以上の方
 (学生は除く)

▶ 試験内容

筆記	①行田市の福祉に関する知識 ②聴覚障害者に関する知識 ③障害者福祉に関する知識 ④手話通訳に関する知識	50分
聞き取り	手話表現 2問	5分
読み取り	口述 2問	5分
面接	—	10分

※手話通訳士の資格を有する方、全国統一試験または埼玉県登録手話通訳者認定試験に合格している方は面接のみを行います。

▶ 参考文献

- 「新・手話教室入門」テキスト(2010年3月31日発行)
 「手話教室基礎(改訂版)」テキスト(2009年3月20日発行)

- 「手話通訳者養成講座 基本課程(改訂版)」テキスト(2009年3月10日発行)
 「手話通訳者養成講座 応用課程(改訂版)」テキスト(2010年5月20日発行)
 「手話通訳者養成講座 実践課程(改訂版)」テキスト(2008年6月1日発行)

(発行：社会福祉法人全国手話研修センター)

▶ **その他** 手話通訳業務を実施した際は、報償金および交通費を支給します。

▶ **申し込み** 福祉課と社会福祉協議会で配布している所定の申込用紙に必要事項を記入し、縦4センチメートル×横3センチメートルの顔写真を貼付の上、2月19日(火)(必着)までに同課または同協議会へ直接または郵送で提出してください。

【持参・郵送】

- 〒361-8601 行田市本丸2-5 行田市福祉課
 〒361-0002 行田市酒巻1737-1 行田市社会福祉協議会(総合福祉会館「やすらぎの里」内)

▶ **問い合わせ** 同課障害福祉担当(内線266)または同協議会 ☎557-5400

あなたの介護を応援します

「こころいきいき介護を続けるために」～かんたん・実践介護食～

認知症の方を介護している家族は、精神的・肉体的・経済的に非常に大きな負担を抱えています。少しでも心にゆとりを持って介護を行えるよう、手間も時間も掛けず簡単にできる介護食を紹介します。

日時	場所	内容	定員	問い合わせ
2月18日(月) 午前10時～正午	産業文化会館 2階会議室	「認知症は生活習慣で予防できる」～見直そう!食生活を～その日から始められる、出来たて認知症予防ジュースを作る。※試飲あり	40人	地域包括支援センター ふあみいゆ ☎558-0088
2月19日(火) 午前10時～11時30分	持田公民館 和室	「がんばらない、介護食」～市販の食材を紹介します～「毎日作るのなかなか難しい…」そんな方に電子レンジで温めて簡単に作れる市販食材を紹介する。※試食あり	20人	地域包括支援センター 壮幸会 ☎552-1123
2月20日(水) 午後2時～3時30分	特別養護老人ホーム まきば園	「食べるための工夫!いろいろ」栄養のバランスが取れた柔らかく飲み込みやすい形状にしたソフト食(介護食)を紹介する。※試食あり	30人	地域包括支援センター まきば園 ☎550-1777
2月26日(火) 午前10時30分～午後1時	総合福祉会館 「やすらぎの里」 調理室	「作ってみよう!かんたん変身介護食」メニューが単調になっていませんか。味だけじゃない、見た目もおいしい介護食を作る。※調理実習あり	20人	地域包括支援センター 緑風苑 ☎557-3611

- ▶ **対象** 現在介護している方や今後介護する可能性のある方
 ▶ **費用** 無料
 ▶ **持ち物** 筆記用具※2月26日はエプロン、三角巾、タオル(手ぬぐい)も持参してください。
 ▶ **申し込み** 各回1週間前までに直接または電話で担当地域包括支援センター
 ※詳細は担当地域包括支援センターまで問い合わせください。

講演会

笑いと健康講演会「笑う門には福来たる」

- ▶ **日時** 2月16日(土)午後2時～3時30分(午後1時30分開場)
 ▶ **場所** 「みらい」文化ホール
 ▶ **内容** 【第1部】「聞いてナットク!免疫力アップ大作戦(健康体操付き)」
 講師：川島治さん(清幸会行田中央総合病院院長)
 【第2部】「落語で癒そう☆心のストレス」
 講師：柳家小団治さん(落語家)
- ▶ **入場料** 無料
 ▶ **その他** 申し込み不要
 ▶ **問い合わせ** 保健センター健康づくり支援担当(市役所内・内線378)



油の適正な処理をお願いします

エンジンオイルなどの工業用油を川に流すと川が汚染され、農業や水道など川の水を利用している皆さんに迷惑が掛かるほか、水生生物にも悪影響を及ぼします。

エンジンオイルなどは販売店や専門業者に処理を依頼し、側溝や水路、河川に捨てないようにしましょう。

▶問い合わせ 環境課環境政策担当 ☎556-9530

燃やせるごみの直接搬入を一時中止します

小針クリーンセンターでは、2月18日(月)から3月1日(金)まで、焼却施設の補修を予定しています。この期間中は燃やせるごみの直接搬入はできませんので、ご注意ください。

▶問い合わせ 彩北広域清掃組合 ☎559-3641

今月の納税

国民健康保険税・・・8期

介護保険料・・・8期

後期高齢者医療保険料・・・8期

納期限 2月28日(木)

市税の納付には、「安心！確実！便利」な口座振替をご利用ください。

放射線量の測定を行っています

市内における放射線量の状況を把握、監視するために放射線量の測定を定期的に行っています。測定値については、「市報ぎょうだ」や市ホームページ、各公民館(土・日曜日、祝日を除く)で公表しています。

放射線量測定値(参考値)

・測定箇所 行田消防署本署地内 ・測定高 1メートル

測定日	測定時間	天候	測定値 (マイクロシーベルト)
1月22日(火)	午前9時	曇り	0.07
	午後3時	晴れ	0.06

※本市では、放射線量測定器の貸し出しを行っています。事前に予約が必要となりますので、防災安全課までご連絡ください。

▶問い合わせ 同課防災担当(内線282)

老人福祉センター 大堰永寿荘からのお知らせ

老人福祉センター大堰永寿荘の敷地内(2地点)で、放射線量の測定値が本市の基準値(毎時0.23マイクロシーベルト)を超えていましたが、低減作業を実施した結果、基準値を下回りましたので、立ち入り制限を解除しました。

▶問い合わせ 高齢者福祉課高齢福祉担当(内線223)

各種相談 (2月15日～3月14日)

相談	場所	日程	時間	問い合わせ
法律(予約制)	産業文化会館2階会議室	2月26日(火)※次回3月26日(火)の予約は3月1日(金)から	午前9時～午後3時	地域づくり支援課 (内線52)
行政	産業文化会館2階会議室	2月18日(月)、3月4日(月)	午後1時30分～3時30分	
消費生活多重債務	市役所	毎週月～金曜日	午前9時30分～午後3時30分	
相続、遺言、離婚、日常生活の困り事	市役所	3月13日(火)※予約制	午後1時～4時50分 (受け付けは午後1時～4時)	埼玉県行政書士会埼玉支部 ☎554-2702
夫婦関係・DVなど(予約制)	VIVAぎょうだ	毎週木・土曜日 ※各土曜日は市内在住の方対象に電話相談も受け付けます	午後1時～4時 (電話相談は午後1時～2時)	VIVAぎょうだ ☎556-9301
内職	市役所	毎週火・金曜日	午前10時～午後4時	商工観光課 (内線383)
人権	忍・行田公民館	3月13日(火)	午後1時30分～3時30分	人権推進課(内線221)
税務	中央公民館 (「みらい」内)	2月19日(火)	午後1時30分～3時30分	関東信越税理士会 行田支部 ☎554-1411
水道料金の休日納付	水道庁舎(前谷)	3月3日(日)	午前8時30分～正午	水道課 ☎553-0131
水道料金の夜間納付	水道庁舎(前谷)	2月19日(火)・26日(火)、3月5日(火)・12日(火)	午後5時15分～7時	

図書館だより

市立図書館 佐間3-24-7(「みらい」内)
TEL 556-4227 FAX 555-3770

開館時間 午前9時30分～午後7時
休館日 2月4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)・
28日(木)、3月4日(月)・11日(月)

※休館中の図書の返却はブックポストをご利用ください。

新着図書

- ・i P S細胞大革命(朝日新聞科学医療部)
- ・子どもにかかるお金の本(子どもにかかるお金を考える会)
- ・黒猫の薔薇あるいは時間飛行(森晶麿)
- ・雲ごよみ(高橋健司)
- ・「はてしない物語」事典(ローマン・ホッケ、パトリック・ホッケ/編著)
- ・わたしのゆたんぼ(きたむらさとし/文・絵)

おはなし会

- ▶日 時 2月20日(水)午前10時30分～11時
- ▶内 容 絵本、パネルシアターなど
- ▶対 象 2、3歳児と保護者
-
- ▶日 時 2月23日(土)午前11時
- ▶内 容 絵本や手遊びなど
- ▶対 象 幼児
- ▶主 催 おはなしタンバリン
-
- ▶日 時 3月2日(土)午後2時
- ▶内 容 絵本や紙芝居など
- ▶対 象 幼児・小学生
- ▶主 催 おはなしの会
-
- ▶日 時 3月9日(土)午後2時
- ▶内 容 絵本や紙芝居など
- ▶対 象 幼児・小学生
- ▶主 催 おはなしポケット

※場所は、いずれも図書館おはなしのへや

読み語りの会

- ▶日 時 3月8日(金)午後2時
- ▶場 所 図書館ミーティングルーム
- ▶内 容 絵本や紙芝居など
- ▶主 催 おしゃべりインコの会

定例子ども映画会

- ▶日 時 2月16日(土)午後2時

- ▶場 所 映像ホール
- ▶題 名 いたずら子ネコ(45分)
- ▶定 員 80人(先着順)
- ▶入 場 料 無料

行田市立図書館障害者サービスボランティア研修会

図書館では、ボランティアの協力でカセットテープによる視覚障害者用資料の作成を行っていますが、デジタル録音図書の国際基準規格として普及しているDAISY(Digital Accessible Information System)の導入を考えています。

そこで、DAISYの内容を理解するための研修会を開催します。

- ▶日 時 2月22日(金)午後2時～3時30分
- ▶場 所 図書館ミーティングルーム
- ▶内 容 佐藤聖一さん(埼玉県立久喜図書館司書主幹)によるDAISYの解説
- ▶対 象 図書館音訳ボランティア
※一般の方も参加可
- ▶一般参加者の定員 10人
- ▶参加費 無料
- ▶申し込み・問い合わせ
2月16日(土)までに電話で図書館

ブックスタート

4カ月児健診に合わせ保健センターで絵本を配布しています。

- ▶日 時 3月12日(火)午後1時受付開始
- ▶持 ち 物 母子健康手帳

移動図書館巡回日程

太田東小	2月15日(金)	北河原小	2月26日(火)
	3月8日(金)		2月27日(水)
星宮小	2月20日(水)	荒木小	3月13日(水)
	3月5日(火)		須加小 2月28日(木)
太田西小	2月21日(木)	埼玉小 3月1日(金)	
	3月15日(金)	北小 3月6日(水)	
南河原小	2月22日(金)	泉小 3月7日(木)	
	3月12日(火)	桜ヶ丘小 3月14日(土)	

※変更となる場合もあります

不用品情報

本市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、まだ使えるものの仲介を行う不用品登録制度を実施しています。品物は無料で、登録期間は3カ月です。なお、規格や大きさが異なる場合があります。

◎さしあげます

- ▽姿見
- ▽電気こたつ
- ▽収納たんす
- ▽ベビーバス
- ▽ハイローベッド
- ▽ベビーラック
- ▽自転車型トレーニング器具
- ▽ルームランナー
- ▽ソファアベツド
- ▽サロンテーブル(いす2脚)
- ▽ラック(ガラス製)
- ▽囲碁セット
- ▽マットレス(セミダブル、セミダブル足付き)
- ▽電動マッサージ器(足用)
- ▽座布団10枚
- ▽CDラジカセ
- ▽学習机
- ▽自転車(子ども用)

◎ゆづってください

- ▽裁縫セット(針箱・針ぼうず・くげ台)
- ▽バックネット
- ▽自転車(大人用・折りたたみ)
- ▽台所テーブル(いす2脚)
- ▽ベビーカー(二人乗り用)
- ▽テレビ(地デジ対応型)
- ▽アンテナ(地デジ用)
- ▽チャイルドシート
- ▽耕運機(家庭用)
- ▽製めん機(家庭用)
- ▽デジタル一眼レフカメラ
- ▽FAX
- ▽洋裁用ボディ
- ▽台所用ラック
- ▽パソコンラック
- ▽CD/MDプレーヤー
- ▽自転車用チャイルドシート
- ▽白・きね

▼問い合わせ 環境課環境業務担当 ☎
556-9530【FAX】553-0792